



# 日和田小学校 図書館だより



R2. 11. 5 (第7号)

## 読書週間「ラストページまで駆け抜けて」!



10月27日(火)から読書週間がはじまりました。「安積山」でも紹介いただきましたとおり、図書館の廊下には先生方が一生懸命つくってくださった「おすすめの本のしょうかい」が飾られています。おすすめされた本はほとんどそろえてありますので、どんどん借りてくださいね。



## 100冊読んで賞をとどけました



図書委員のみんなで100冊以上図書館の本を借りた人へ賞としおりとどけました。いまはコロナ対策を継続しているので、1週間に1度の貸出では冊数を増やすことが難しいですが、クラスで協力して密にならないように図書館へ来てくれることで100冊を達成することができました。おめでとうございます!

### <受賞したクラス>

2年1組 2名

2年2組 9名

5年3組 1名

## 「じんけん移動図書館」を置きました!



図書館にあたらしく「じんけん移動図書館」を設置しました。もうすでにたくさんの方が使ってくれています。まだ活用したことのない人は、ぜひ一度図書館で見てみてくださいね。

### ○「じんけん移動図書館」について

郡山市市民部男女共同参画課から、移動図書館の本をかりました。全部で33冊あり、命や心、色んな生き方、社会についての様々な本をそろえています。図書館の本ではないので、バーコードがありません。かりたい時は、ファイルに氏名と本のタイトルを書いてくださいね。



### どんな本があるの?

『「ふつう」ってなんだ?』『とにかくさけんでにげるんだ』『ありのままに  
られる社会』『いいタッチわるいタッチ』『いのちのはな』『いろいろな性ってなんだろう』『おとうさんがお  
とうさんになった日』など



## まだまだつづく！次回イベントのお知らせ

読書週間は11月6日で終了してしまいましたが、引き続き図書館ではみなさんにたくさん本と出会うイベントを行います！

### ○予約表

水曜日の時点で、すでに70人以上が使ってくれている予約表！読書週間が終わっても、つづけます。もう一度、使い方を確認してね！

1. クラスと氏名を書いたあと、かりたい本のタイトル（名前）を書きます。
2. 番号札をなくさずに持っておきます。
3. 図書館に本が返ってきたら、図書委員さんがお手紙を届けます。

お手紙をうけとったら、その時に借りている本と番号札をもって図書館で予約した本と交換でうけとります。

読みたかった本  
が届きます！



### ○読書郵便（どくしょゆうびん）



今年は11/10～11/27までの期間に読書郵便を行います。1年生にとっては初めての読書郵便ですね。読書郵便とは、お友達にすすめたい本を手紙にかけて図書館のポストに投函（とうかん）するというイベントです。

みなさんはどんな本をお友達に読んでもらいたいですか？今まで読んだ本で、紹介したい本を考えておいてくださいね。



<お知らせ> 11月11日(水)はパソコンメンテナンス日のため、貸出をお休みします。

新しく図書館に入った

## ☆先生のおすすめの本の紹介☆

松原由美子先生のおすすめ『ふゆのはなさいた』 作・安東 みきえ 絵・吉田 尚令



松原先生の紹介文に「スイミーを上回る名作」と書いてあった『ふゆのはなさいた』。表紙には枯れ木や雪など、寒々しい景色が描かれているので悲しいお話かな？と思いがちですが、ラストページには暖かい涙が流れるような作品でした。低学年だけでなく、高学年までしっかり心にひびくお話です。



鈴木蘭葉先生のおすすめ『なんたろうなんたろう』

作・ヨシタケシンスケ

「りんごかもしれない」や「おしっこちょっぴりもれたろう」でたくさん賞を取っているヨシタケシンスケさんの作品です！

「いってきまーす」いつものように学校に向かうべく。途中で会った友だちのお母さんから「学校どう？ たのしい？」って聞かれた。「そう言われてみると、学校ってなんたろうね。あれ、たのしいってどんな気持ちなんたろう…」友だちって？ しあわせって？ 立場って？ ふとした瞬間にうかぶ、

12の「なんたろう」を徹底追究していきます。道徳の教科書のコラムから誕生した一冊。



宇内隆一先生のおすすめ

『カレーライス』『半パン・デイズ』 作・重松清

みなさんは、手にとった本がいつ発行されたか気にしたことはありますか？

『カレーライス 教室で出会った重松清』は、今年の7月に出版されたばかりの本です。作者あとがきには、とてもタイムリーな内容が記されていました。

「あとがきを書いている今日は、四月十五日。(中略)新型コロナウイルスの感染は終息するどころか、拡大の一途をたどっている。…「教室で出会った〇〇」を

大切にしてほしい。愛おしんでほしい。教室で出会った友だち。教室で出会ったライバル。教室で出会った寂しさ。教室で出会った歓び。教室で出会った悔しさ。その他もろもろ。すべてが、きみたちをかたちづくるものであってほしい。教室が、こんなにも遠くなってしまったいまだからこそ、思う。」

9月のとしまだよりで紹介した那須正幹さん（ズッコケ三人組の作者！）は、特別な今だから「コロナ日記」をつけよう、将来きっと貴重な資料になると言っていました。

一冊の本、一人の作家さんの言葉ではありますが、まるで自分にあてた手紙のように感じてしまうのが不思議ですね。せっかくの読書週間です。作者のあとがきまで目を通して、自分に寄りそってくれる一冊をみつけてくださいね。



こちらも宇内先生のおすすめ！  
『半パン・デイズ』

渡辺孝志先生のおすすめ『ナマケモノでいいんだよ』

作・ルーシー・クック 訳・橋本 篤史



ナマケモノって、ほんとうに「怠け者」？

作者はイギリスの動物学者であり、写真家のルーシー・クックさん。  
なんと、「ナマケモノ鑑賞協会」までつくっちゃったそうです！本当に  
ナマケモノが好きなんですね。

ではここで、ナマケモノの生態をご紹介します！

一日の6割は睡眠。

「一人」が大好き。

いつも世界を「逆さ」から見ている。

常に笑顔でクール（低体温）。

なんだか、にんげんの世界って疲れちゃうなあ…という人は、ぜひナマケモノに癒されてみてください。  
い。

図書館にある本もご紹介！

坂牧広文教頭先生のおすすめ

『よもぎだんご』

作・さとう わきこ



二瓶宏樹先生のおすすめ

『1日10分でちずを  
おぼえる絵本』

作・あきやま かぜさぶろう



大塚善憲先生のおすすめ

『コロボックル物語①だれも知らない小さな国』

作・佐藤 さとる



佐藤実先生のおすすめ

『鶴になったおじさん』 作・高橋 良治



…次号もひきつづき先生方の紹介された本をお届けします。おたのしみに！

おまけ

二瓶先生のしょうかい文に次の質問がありました。みなさんはどこだかわかったかな？  
「まねきねこの形をした県は、〇〇県」

